

- 第4次産業革命の成果を、大企業から中小企業、中央から地方へと確実に届けることが必要。
- ものづくり、農業、建設等の現場において担い手の高齢化や後継者不足が深刻化。現場のノウハウの承継が急務。
- IoT時代における社会的課題解決に必要な、業種や職域にとどまらない横断的なビジネス連携の不足。
- 自動車・半導体等の最先端工場、生産技術人材が集積。ブロック別シェア 2 位の農業の存在。

地域ものづくり企業を中心に

I o T 技術の提供者を中心に  
(ものづくり、医療・介護、農業、観光、建設、運輸等)

## 九州地域経済・産業活性化のための 「IoT・第4次産業革命」研究会

ものづくり分野においても生産革新の波が押し寄せる中、九州地域のものづくりの強みを活かし、地域企業がビジネスチャンスを見出ししていくため、研究会を開催。

- 地域企業への「気づき」の提供
- 地域企業が第4次産業革命に対応していくための基盤や環境整備に関する検討・提案
- 九州の強みを活かしていくための方策の検討・提案

## IoT推進のための システムインテグレーション・ネットワーク構築に係る調査

IoT導入企業と技術を提供する企業をつなぐシステムインテグレータ（SI）の重要性が高まる中、九州企業が有するIoT関連技術とユーザーのニーズを把握、SI育成やネットワーク形成について調査検討。

- 九州地域の現状の整理（アンケート・ヒアリング）  
IoT導入事例集作成
- 有識者と地域企業の勉強会
  - ・ S I 育成方策の検討
  - ・ システムインテグレーション・ネットワーク形成の検討

### 【提言】

IoT・第4次産業革命に関する国際水準の製造技術（ソフト・ハード）を常設し、企業が経営に活かすための実証（トライ&エラー）に取り組むことができる「実証ラボ」の機能整備を行う。

### 【29年度の取組予定】

- ・「実証ラボ」の具現化に向けて、自治体、支援機関、大学・高専等との連携体制を構築し、実施体制や運営方法等について検討。
- ・各階層別に、人材育成のためのセミナーやワークショップ等を試行的に実施。

連携

### 【提言】

IoT技術の提供者と導入者、支援機関（大学・高専、産業支援機関、金融機関、国・自治体など）の緩やかなネットワークによるIoTビジネスの創出

### 【29年度の取組予定】

- IoT技術の提供者とユーザーの出会いの場、課題解決やアイデアを具現化する場として、「九州IoTコミュニティ」を設立し、先進事例の情報提供やニーズ・シーズのビジネスマッチング、テーマ別研究会等を実施。

# 九州IoTコミュニティの設立と実証ラボの整備

九州IoTコミュニティ（平成29年7月31日設立予定）  
 ～課題解決やアイデアを具現化するための場～



**【想定される機能】**

- 先進事例の情報提供（セミナー、先進企業見学会、事例集）
- マッチングによるビジネス創出（ニーズ・シーズ発表会、テーマ別研究会）
- 実証ラボの整備・活用の推進
- 実証実験フィールド提供・技術開発補助金等による支援
- 人材育成、資金支援 など

研究会等	テーマ別研究会 1	テーマ別研究会 2	テーマ別研究会 3	実証ラボ整備・活用の検討※
------	-----------	-----------	-----------	---------------

※実証ラボの整備・活用推進を図る。ラボの概念設計、モデルプラン等については29年度に検討。



連携・活用

**「実証ラボ」** ～第4次産業革命のツールを経営に活かすための支援機能整備～

- 体験による自社への関連技術の応用領域の探索、検証・実証
- 企業人材各層（経営者・技術系役員・現場）の教育研修